

令和3年度第3回学校運営協議会 議事録

校名	大阪府立久米田高等学校
校長名	河合 克昭

開催日時	令和4年2月8日(火)意見等の返信用書類の提出期限日
開催場所	書面によるやり取りで実施
出席者(委員)	小林会長、福井副会長、阪田委員、太田委員、高谷委員、小坂委員
出席者(学校)	校長、教頭、事務長、首席
傍聴者	なし
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度学校経営計画・令和3年度学校評価 ・令和3年度(2021年度)久米田高等学校マネージメントシート ・令和3年度 学校教育自己診断結果について ・令和3年度第2回授業アンケート結果(学校全体)
備考	新型コロナウイルス感染拡大防止による書面での実施となる

議題等(次第順)

- ・令和3年度の学校評価の承認
- ・令和4年度の学校経営計画の承認
- ・上記の経営計画・学校評価や令和3年度(2021年度)久米田高等学校マネージメントシート等についての
- ・令和3年度 学校教育自己診断結果についてのご意見
- ・令和3年度第2回授業アンケート結果(学校全体)についてのご意見

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- ・令和3年度の学校評価や令和4年度学校経営計画は全員の承認を得る。
- ・令和3年度 学校評価について
 昨年から引き続き、コロナ禍での教育活動に大きな制約があった中、目標を達成できている項目が多いことは教職員の力によるものである。数値に現れてこない実態(課題や問題)についても教職員間で共有し、次年度の学校経営に反映を。また、生徒の授業理解度を高め、生徒一人ひとりの希望進路の実現に向けて授業を工夫されており、コロナ禍でのICT活用が注目されている中、先生方のICT活用率の高さが見受けられる。
- ・令和4年度 学校経営計画について
 ICT機器を積極的に取り入れ、生徒の自主性・思考力・技術の向上に期待。
 生徒達が地域と連携した取組みに参画し、地域のまちづくりの一員としての貢献。
 自転車でのながらスマホを多く見かけるので、安全第一の教育指導を行ってほしい。
 教員の超勤削減を是非実現。
 「夢設計手帳」を活用して生徒の3年間の学びを可視化。
 生徒の積極性を伸ばす・後押しができる体制づくりに期待。
- ・令和3年度(2021年度)久米田高等学校マネージメントシートによる各分掌・教科等の達成状況について
 コロナ禍に対応した取組が確認できた。新カリキュラムの完全実施に向けた授業計画・内容や評価基準等の最終調整により、学校の実態に応じた新カリキュラムの実施になることを願う。
 新型コロナウイルスの影響を受けていると思うが、各分掌内だけでなく、分掌を越えた連携がされており、学年で見た際も、SDGsや探究活動などのICTを活用したオンラインと、感染対策を講じたオフラインでの開催ですみ分けがされ、実施に必要な運営面と機能面での連携もされ、コロナ禍における困難な状況においても生徒の「学び」は十分に担保されていると感じた。
- ・令和3年度 学校教育自己診断アンケート結果および授業アンケート結果について
 二極化傾向がみられる項目についての取り組みを意識していただければと思う。
 生徒・保護者とも学校教育に対して積極的な意見が多く良いことだと思う。
 生徒アンケート結果を見た際に、多くの項目で、21年度に関して肯定的意見に減少傾向がみられ、休校やコロナウイルスによる例年通りの行事実施が困難であったことが考えられ、保護者からの授業改善や進路観への質問項目において、肯定的な意見が21年度においても増加している要因としては、ICT化の促進がなされていることや、GTZの向上や大学入試実績が保護者にも波及しているのではないかと。
- ・その他
 高校生活に課外活動の存在は欠かすことができない。制約がある中だが、前向きな実施方法の検討をこれからもお願いする。
 生徒達が目標意識を持ち、更なるステップアップが図れるよう今以上の先生たちのご協力をお願いしたい。
 先生方もコロナ禍の中ご対応大変な思いをされたと思います。一日も早く日常にもどることができますように、また、ピンチをチャンスに、貴校の増々のご発展をお祈りしています。
 コロナ感染対策やコロナ感染者発生時の対応など、迅速かつ丁寧に対応していただき、ありがとうございます。

次回の会議日程

日時	令和4年6月中旬 10:00～
会場	大阪府立久米田高等学校